

エピソード52

おばあさんに子どものことを
相談しました。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験
があります。エデュサポネットのファ
シリテーターです。



先生が受け持った5年生の武夫くんは、おばあさんが育てているそうですね。

武夫くんはお母さんに病気があって、お母さんから離れて暮らしています。武夫くんを育てるのは、母方のおばあさんです。武夫くんは、発達に心配があるお子さんです。

低学年の時から教室で急に眠ることがあり、大きな声を出したり落ち着かない様子もあったと、引き継いでいます。





5年生になってからの武夫くんの様子は
いかがですか？

好きなことは積極的なのに、急に寝て
しまうことがありました。私は、そんな
武夫くんを見て、思わず大きな声で注意
してしまいました。

でも、注意しても、急に寝てしまうことは
続きました。武夫くんにどうかかわったら
いいのか悩みました。





お母さんやおばあさんは、武夫くんの発達についてどう考えていたのでしょうか？

お母さんとお話をする事はなかったのですが、おばあさんとは個人懇談で話しました。

以前に特別支援学級の話をお勧められ、家ではちゃんとしている、とおばあさんがものすごく怒ったと、聞いていました。とても緊張して、武夫くんの様子を話しました。





そうですか、先生はとても緊張したんですね。

はい、慎重にお話をしたつもりですが、おばあさんは、「家ではちゃんとしている」と声を荒げて言いました。

僕は、ああ、おばあさんを怒らせてしまったと、後悔しました。





その後、おばあさんが先生や学校になにか言ってきたことはありますか。

玄関でたまたまおばあさんと会った、学年団の先生はおばあさんがなにか話したそうな様子だったので、空き教室で話を聞いたそうです。

孫の面倒をみる大変さや娘の病気、自分の病気のこと、孫の特徴は家では特に気にならないこと、でもどうにかしたほうがいいんだろうか、など次々話をしたそうです。





そのことを聞いて、先生はなにか考えたことはありますか？

自分は武夫くんの教室での様子を伝えていても、家庭の困り感などには、関心をもっていませんでした。

おばあさんを気遣う気持ちが、僕にはなかったんだと気づきました。





それから後は、おばあさんとどんな
かかわりを持ちましたか。

おばあさんの困っていること、不安に
思っていることを聴き取って、武夫くん
に必要な支援について一緒に考えていく
ことにしています。





なみちちゃんの一言

- 祖父母が孫の面倒をみる背景には、父親や母親が病気がちであったり、祖父母自身が高齢で病気であったりと、複雑な事情があります。教師はこのような事情を考慮し、理解して祖父母とかかわるといいですね。
- 人は悲しみや不安を抱えると、それを怒りで表現することがあります。保護者の強い口調や時に攻撃的な態度に、教師は驚くことがありますが、その否定的感情の背後にある保護者の不安を理解し、かかわりましょう。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)